

ふれあい通信

⑩

しあわせの村仮設住宅自治会発行

ふれあいセンターTEL 078-743-9868

風薫る若葉の季節となりました。見上げれば緋鯉真鯉が風を受けてゆうゆうと泳いでいます。皆さまもきつとさわやかな気分でお過ごしのことと思います。

さて、過日の拡大役員会におきまして、今年度の自治会長をお引き受けいただきますこととなりました。微力ではありますが、一生懸命やりますのでよろしくお願い致します。今回初めて役員になられた方も多く何かと戸惑っておりますが、皆で力をあわせて運営にあたりたいと思っておりますので、みなさまのご理解とご協力を賜りますようかさねてお願い致します。

先々月十九日原因がよく判っていませんが、当仮設で一人自殺された方がありました。日頃の生活の中での孤立

新任のご挨拶 自治会長 岩本一夫

が一因ではないかと思えます。いろいろご事情もあつたのでしようが、只一人孤独だという思いこみが、ついで近所からも遊離して家内に閉じこもってしまったのではないでしようか。たてのつながり、横のつながりの中に、励まし励まされてこそ、共に頑張ろうという気持ちも育まれて来るのではないかと、思ったりします。いまこそお互いに心の通い合う友達を作ろうではありませんか。

これからは公営住宅の当選発表もあつたり、その他のことで次々と仮設住宅を離れられる方も増え、次第に寂しくなつてゆくのではないかと思われませんが、残つたもの同士なかよく肩を寄せ合い、力強く支え合つて行くことではありませんか！ふれあいセンターにもどんどんお出かけ下さい。

かりん

昨年暮れ、ハナミズキをもらい、植木鉢に植えた。知人は「北アメリカ原産の落葉高木で、ワシントンヘサクラを寄贈した返礼に日本へ渡つてきた」と説明したが、太さ一センチにも満たない枯れ木からどんな花が咲くのか想像もつかない。先日新聞にこんな記事

が出ていた。「神戸ポートアイランドの一角で、あの白い花が咲いていた。薄暮のなかで、純白がいつそう際だち、立ち去りがい気分させる」。イメージが膨らむと、ああそうか、大事に育てようという気になる。以後せつせと水やりに精を出している。◆この仮設の住宅に俳句と花を愛でるご婦人がいる。二週間に一回シルバールッジの農園にやつてきては、黙々と土をいじる。友人たちとの語らいが楽しいようで、野菜や花を抱えて帰るときの笑顔がいい。震災で店のすべてを失い、子供の世話にならずに一人暮らしを貫いているが、ただの一回もグチを聞いたことがない。グチ、ウサ、ウワサバナシ、カゲグチ、そんなものとは一切無縁の暮らし、とお察しした。

◆二つの話に脈絡はない。言えることは、時は正に新緑。自然は偽らず年々歳々同じ頃に芽生え、そして花を競う。復興住宅への移住という大問題を抱えた時にも、余裕はいるもんです、ということその人から教えていた。だいたいがする。花乱れる外へ出よう、外の空気を吸おうと。

手芸クラブ 中谷 房枝

気持ちよく晴れた青い空、風に吹かれて元気良く泳ぐ鯉のぼり、見ていると何かこちらまで元気を貰えそうな気がします。こしあわせの村、ふれあいセンター手芸部では、現在十五、六人位が、ガンパロー神戸の宮崎さんを中心に、毎週木曜日午後一時から夕方近くまでいろいろの作品に取り組んでいます。今までに沢山のことを教えて頂きました。

一つ一つ仕上がってゆくのが嬉しくて又その日いつもの顔ぶれが集まって、笑ったり喋ったり時には愚痴ったりお茶をのんだり、時間のたつのが早いこと。掃除を済ませた後、出来上がった作品を手にして来週を楽しみにして帰ってゆきます。一人でも顔を見せないと心配して問い合わせたり、とても良い雰囲気の手芸クラブです。この仮設を離れた方でも、忘れがたくて毎週木曜日はせつせと通って来られるくらい・・・。

このまま何時までも言っても限りがあります、せめてこの仮設にいる間この和やかさを大切にして行きたいと願っています。

宮崎さんには大変お世話をお掛けしています。ありがとうございます。これからもよろしく願っています。



おなじく手芸クラブの前川さん、田端さんにお話を伺いました。お二人とも手芸クラブには最初から参加していらつしやるとのこと、そして特別のことが無い限り殆ど出席していらつしやるそうです。

作品はたくさん出来ましたが、なかでも袋物など作る時はすこし難しいけれど、とても実用的で役だっていますと、手に持っておられた手提げを見せて下さいました。色の取り合わせも品よくてなかなかの出来映えでした。お二人とも作るのには楽しいけれど上手下手なく一緒に冗談を言ったりしてお話できるのが一番、先生が朗らかで親切だから雰囲気がとても良くて楽しく教えて貰っていますと生き生きしたお顔で話してくださいました。

(I・O)



去る四月十九日(土)センターのふれあい喫茶で、撮影した前川さん、田端さん

近郊ウオッチング⑨
相楽園

新緑が眩しいくらい美しい季節になりました。今回はつつじの綺麗な相楽園をご紹介します。事にしてしましよう。

県庁から北へ五十メートルほど歩くと、高い塀に囲まれた一角が相楽園、此処は戦後最初の神戸市長であった小寺謙吉氏の邸宅で昭和十六年三月神戸市が譲り受け市民に解放されたものです。明治中頃から大正の始めにかけて築造され当初は石灯籠や名石を配し、茶室を備えた豪壮な日本邸宅でしたが、空襲で消失し当時のものは厩舎(国の重要文化財)、塀と門が名残を留めています。

現在は旧ハッサム邸、船屋形(ともに国重文)も移築されて回遊式の枯泉園として整備され春ツツジ、秋には菊花展などが開かれ多くの人が訪れています。四月二十日から五月末まで「ハッサム邸」が一般公開されています。ゆつくり美しい庭に映える明治の異人館を訪ねて見ては如何でしょうか。

南の池のそばに置かれている「船屋形」は江戸時代姫路藩主が河川での遊覧用に使っていた「川御座船」の屋形部分で、春慶塗りと黒漆塗りに塗り分け、金箔を施した非常に豪華なもので今の時期は全景が公開

されています。また園内北東寄りの所にある赤煉瓦造りの「厩舎」は一部二階建てとなっていて、二階は厩務員の宿舎に当てられています。明治の末頃河合浩蔵の設計で建てられ、現在は*

咲き初めし桜前線後戻り
画廊として使われ公開されています。
楠の大木や蘇鉄なども多く植えられ往事を偲ばせ、都心のオアシスとして市民に親しまれています。
交通 (1) 地下鉄「山手」県庁前駅下車徒歩約五分
(2) JR・阪神「元町」駅北へ約八分 (I・O)



俳句 清水ヤツ子

- * 露深く花の山道手さぐりに
- * 膳に桃一人で祝う誕生日
- * 海うらら瀬戸の大橋風光る
- * 咲き初めし桜前線後戻り
- * 春暁の牛乳配り頼もしく
- * ランドセル背中中で踊る春の風
- * 菜の花を漬けて笑顔の朝の卓
- * 鶯の声聞く郷に住める幸

清水さんは戦時中は広島で看護婦として活躍されましたが、その後長田に移り住んで今度の震災に遭われたためいまの仮設にいられたとのこと。今は趣味の水墨画(ほかに写経も・)大正琴、俳句など幅広く楽しんでいます。現在はシルバークレッジの学生さんでもあります。しあわせの村内にある有機栽培の農園で他の学生さん達と、和やかに作業をしていらつしやる所にお邪魔してお話をお聞きしました。

☆平成九年度自治会新役員

すでに皆様にご通知済みですが、ここに再録いたします。

- 会長 岩本一夫(四一二A)
 - 副会長 池北昇(三〇一四B)
 - 同 畑田時子(四二一六C)
 - 同 中村さよ子(五〇一〇C)
 - 同 野崎タキ子(五九一二D)
 - 同 島田信子(七二一一D)
 - 同 ブロック長 三原マキエ(六一一〇A)
 - 同 水川雅夫(一一一六B)
 - 同 中村さよ子(五〇一〇C)
 - 同 畑田時子(四二一六C)
 - 同 島田信子(七二一一D)
 - 同 西垣きぬよ(七六一六D)
 - 同 大西百合子(三四一二B)
 - 同 大西佑季(二五一二)
 - 同 清水ヤツ子(四一一八)
- 右の役員を選出については自治会規約第三章七条により成立しております。

☆ふれあいセンター役員

ふれあいセンターの運営協議会はつぎのとおり二つのグループです。

- 第一ふれあいセンター運営協議会
委員長 岩本自治会長 以下八名
 - 第二ふれあいセンター運営協議会
委員長 池北副会長 以下七名
- いずれも九年度推進員のメンバーです。

仮設住宅訪問

去る四月二十四日山梨県南部中学校(山梨県南部町)JR身延線沿線で静岡県との県境付近)の男女生徒一五〇名が修学旅行の途中、当仮設住宅を訪ねてきました。四、五人づつグループになって皆さんの住宅を訪ねている震災時のお話などを伺っていたようですが、やはり彼らにとつては、



いまの神戸の市街地を見てもとても震災の被害など想像もできないだろうし、ましてや仮設住宅を訪問しても被災者の生活がすぐ実感できるとは、思われませんが、きつと何か感銘を受けて次の訪問地広島へ向かったことでしょう。彼らにとつてよい社会勉強になったであろうと思います。

「お知らせ」
しあわせの村

これからの五月度イベント
五月十一日(日)

★ちびっ子写生コンクール
一〇・〇〇〇一五・〇〇

中央緑道ほか

絵の好きなちびっ子大集合!

画用紙は当日配布します。巡回指導もありません。

★マンスリーコンサート
一三・三〇

本部・宿泊館エントランスホール

毎月第2日曜日開催の、神戸市混成合唱団による、季節にちなんだ楽しい歌のコンサートです。

編集後記

今月はじめて俳句のご投稿がありました。これからも川柳、短歌その他どんなご投稿ください。